

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成30年度事業 点検・評価調書

4-I-6

4-I  
-6

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	案内標識の設置
節	I. アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	6 案内標識等のルール確認、整備、充実 (市道)	事業主体	佐渡市建設課
		関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市交通政策課、佐渡市観光振興課
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	【事業目的】	○来訪者の円滑な移動に向けて、案内標識の整備の充実を図る。	
	【事業内容】	○構成資産へ来訪者を適切に誘導するため、関係機関が連携しながら、市道の案内表示に関する整備方針の検討、基準の確認、占用協議等を行ったうえで、道路案内標識等の整備充実を図る。	
③0 事業計画と実績	【30年度計画】	相川中学校から現在建設中の佐渡金銀山ガイダンス施設までの旧県道(市道)について地域整備部及び関係課と協議し、案内標識等のデザインの検討及び整備を図る。	
	【30年度実績】	地域整備部及び関係課と協議した結果、構成資産が広範囲に渡り、その標記方法等について問題点を整理する必要が生じたので、来年度も引き続き協議を継続し標記ルールを策定する。	
課題・今後の取組	【課題】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開資産へ誘導するため、どのような標記にするのか、統一見解が必要となる。</li> <li>・案内標識以外の補助的な看板の必要性や、その担当部署について整理が必要と思われる。</li> </ul>	
	【今後の取組】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月20日にガイダンス施設(きりりうむ佐渡)がオープンすることから、一部の案内標識について表示の修正を行なう。</li> <li>・標記ルールが決定され次第、H30の繰越予算で案内標識の修正に着手する。</li> </ul>	
事業評価	【事業の達成度】	案内標識の標記ルールについて関係団体と協議しているが、正式決定が遅れているので 早期に決定することを望んでいる。	
	[ a ・ b ・ C ]		
	【事業実施の効果】		
【総合評価】	[ A ・ B ・ C ]		

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。